

[海況概要]

今週の本県近海の表面水温は、19～24度を示し、やや高めでした。

[漁況概要]

中小型まき網--西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり10トンの水揚げで、前週の2.5倍（前年並み）。北松南部地区では、マアジなどが1日1統当たり12トンの水揚げで、前週の2倍（前年を下回った）。

イカ釣----ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり17kgの水揚げで、前週の1.3倍（前年を下回った）。

定置網----五島有川地区では、シイラなどが1日1統当たり139kgの水揚げ。五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり556kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり115kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり134kgの水揚げ。

一本釣----北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり377kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。

[日本海スルメイカ情報]

今期(11/15～11/19の5日間)の沖合イカ釣(船凍船)は、能登半島北沖に移動するも漁獲薄、久慈～宮古沖で操業。

沿岸イカ釣(氷蔵船)は、対馬及び山陰沖で僅か水揚げあり。

鳥取県西部(沖合船)は、2日延7隻、総計223箱、1航海最高61箱、平均31.9箱。
ケンサキイカ(2～3立)を漁獲。

(漁業情報サービスセンターより)

[お知らせ]

漁海況通信「第7-25号 6県ケンサキイカ情報(令和7年度 第6号)」・「第7-26号 壱岐水道・対馬東水道の観測結果」を発表しました。

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>